

食品の安全・安心に関わるアンケート調査結果(一部抜粋)

調査方法：インターネットモニターアンケート

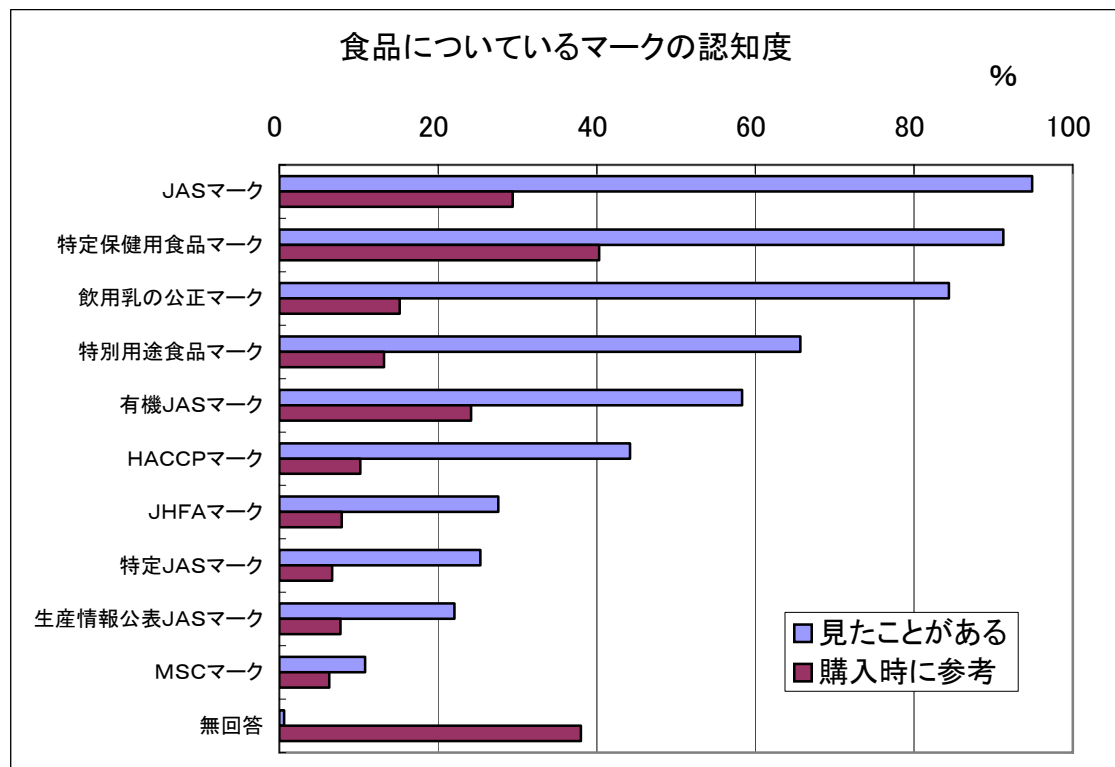
対象者：日本生協連くらしと商品研究室インターネットアンケートモニター(毎年1回募集)

アンケート調査期間：2007年11月7～11日(5日間)

モニター数：2818名

有効回答数(回答率)：1934名(68.6%)

調査目的：①生協組合員が食品購入時に何を重視しているか、どういう食品メーカーの商品を買いたいと思うか、食品の安全に関して不安に感じることなどを同一設問で3年連続調査した結果をまとめ、組合員が重視する点がどう変化してきたか明らかにする。②食品の表示に関し、「見たことがある表示」「購入時に参考になっている表示」「改善して欲しい表示」を調査し、コープ商品の表示改善のための基とする。③組合員の食生活に関する志向・ライフスタイルを調査し、組合員ライフスタイル別の特徴を明らかにして、マーケティングのための基礎データを提供する。



マークの図及び説明を提示して、「見たことがあるマーク」「食品購入時に参考になっているマーク」を尋ねた。「見たことがあるマーク」は、JAS、トクホ、飲用乳の公正マークの順となり、「購入時に参考になっているマーク」は、トクホ、JAS、有機JASとなった。ただし、「購入時に参考になっているマーク」では、4割の人が無回答となっており、食品購入時にこれらのマークをチェックすることが定着しているとは言えないようである。